



# なご市議会だより



嘉数剛議員提供「緑に覆われた市役所」

## 新年の御挨拶



名護市議会 議長  
金城 隆

明けましておめでとうござ  
います。

皆様が健やかに新年を迎え  
られましたこと心からお喜び  
申し上げます。

平素より、議会並びに議員  
活動に御理解と御協力をいた  
だいておりますことに対し、  
名護市議会を代表して衷心よ  
り感謝申し上げます。

新年を迎え、より一層の躍  
進の年となるよう決意を新た  
にしたところであります。

今般の社会経済情勢は、国  
際化、情報化、少子高齢化が  
進行する中、本市においても  
克服すべき多くの課題を抱え

ており、行政需要は質・量と  
もにますます複雑化・多様化  
し、誠に厳しいものがありま  
す。

名護市議会は、市民の皆様  
が住んで良かったと思えるま  
ちづくりに全力を尽くしてま  
いります。そのために、これ  
からも市民の声をしっかりと  
受け止め、市民のより良い生  
活を目指し、市民の御期待に  
沿えるよう一丸となって邁進  
します。

結びになりますが、引き続  
き市民の皆様への御理解と御支  
援を賜りますようお願い申し  
上げますとともに、皆様にと  
りまして健康で幸多い年であ  
りますよう心から祈念申し上  
げ、年頭の挨拶といたします。

令和八年 元日





## 第15期 民生教育常任委員会

名簿（上段：並び順）嘉数 剛／多嘉山 侑三／平 光男／大城 敬人  
 （下段：並び順）宮城 さゆり／福澤 奈美（副委員長）／比嘉 拓也（委員長）／大城 松健

### \* 主な採択された 請願・陳情一覧

- 名護市嘉陽上グスクの現地保存と活用について
- 訪問介護費の引下げ撤回と、介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを求めることについて
- 乳幼児の「命と健康を守る」ための寄り添い支援体制に関することについて
- 加齢性難聴者の補聴器購入に対する補助制度を求めることについて
- 夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求めることについて

### \* 委員会から出された意見書一例

#### 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める意見書

（※掲載に当たり、一部抜粋）

70歳以上の高齢者の半数は、加齢性難聴と推定されています。難聴になると家庭の中でも社会的にも孤立しやすく、人との会話や人と会う機会が減ってしまうことが少なくありません。加齢性難聴は日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にさせるなど生活の質を落とす大きな原因になり、最近では認知症や鬱病になる傾向が強くと専門家も指摘しています。こうした中で、聞こえの悪さを補完し、音や言葉を聞き取れるようにしてくれるのが補聴器です。日本の難聴者率は欧米諸国と大差ないといわれていますが、補聴器使用率は欧米諸国と比べて極めて低く、補聴器の普及は諸外国と比べても進んでいるとはいえません。

日本補聴器工業会が行ったジャパントラック2022調査報告では、日本の補聴器普及率は15%であり、デンマーク55%、イギリス53%、フランス46%、ドイツ41%などと比較して極端に低くなっています。この背景には、日本では補聴器の価格が片耳当たりおおむね20万円から50万円と高額で、保険適用がないため全額自己負担となっていることがあります。身体障害者手帳を持っている場合などは補装具費支給制度により負担が軽減されますが、多くの人は自費で購入しています。特に低所得の高齢者に対する配慮が求められています。欧米では既に確立している補聴器購入に対する公的補助制度が、日本では整備されていません。

さきの通常国会では「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が全会一致で成立しました。認知症の人がその個性や尊厳を保障され、希望を持って暮らせる社会づくりへの重要な一歩です。岸田前首相は「高齢者や御家族の皆様にとって切実な課題である認知症への対応については、政府を挙げて、そして国を挙げて、先送りせず、挑戦していくべき重要な課題」（2023年6月21日の記者会見）とも述べています。

以上の趣旨から、加齢による難聴者の補聴器購入に対し、国の補助制度を創設することを求めます。

令和6年12月23日

宛先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長



令和7年10月 岐阜女性センター（視察研修）



## 第15期 経済建設常任委員会



名簿（上段：並び順）仲尾 ちあき / 金城 善英 / 比嘉 宏正 / 神山 正樹  
 （下段：並び順）金城 隆 / 東恩納 琢磨（副委員長） / 宮里 尚（委員長） / 石嶺 康政

### \* 主な採択された 請願・陳情一覧

- 新規就農の補助金制度の利用における農林水産部の対応改善について
- 羽地内海における「堆積土砂など」の早期回収及びしゅんせつを求めることについて
- 「女性差別撤廃条約選択協議書の速やかな批准を求める意見書」の日本政府への提出を求めることについて
- 真喜屋運動広場周辺及び近隣集落の排水機能の改善について
- 稲嶺区内の排水機能改善について



令和7年10月 亀岡市役所（視察研修）

### \* 委員会から出された意見書一例

#### 羽地内海のしゅんせつを求める意見書

名護市の羽地内海は、以前は米軍が艦船を停留させるほどの海域であり、多くの魚介類が生息する環境でもありました。また、その広い海域による多くの漁業資源は地域を豊かにし、市民はその恩恵を受けていました。

しかし、令和2年度に名護市が行った「羽地内海環境現況調査」により明白となったように、現在の羽地内海には大量の土砂が堆積し、その影響で海水の循環が滞ることで、漁獲量が大幅に減少するなど、ヒトエグサ（アオサ）をはじめとする養殖業も大きな被害を受けています。

台風時には近隣海域からの船舶が避難のために羽地内海に入りますが、停泊できるのは内海の中央部分に限られており、座礁を恐れて航行を制限しています。さらに、漁船の航路ともなっているため、その航行の制限が漁業に支障を来しています。

また、かつての羽地内海は風光明媚な場所として知られていました。羽地内海のしゅんせつに併せて内海周辺にマリナーや各種ハーバー（泊地）を整備することで、沖縄県北部地域の観光の振興にも寄与すると思料されます。

以上のことから、名護市議会は下記の事項について要請いたします。

記

- 1 羽地内海のしゅんせつを行うことで近隣海域からの流水の増進を図り、魚介類の生息域を拡大して従来の豊かな漁場としての再生を求めます。
- 2 台風等の災害時の避難港としての整備、防災拠点としての羽地内海の整備及び漁船などの安全安心な航行に必要な航路の確保を求めます。
- 3 沖縄県北部地域の観光の振興を図るため、羽地内海周辺の整備を求めます。

令和6年7月2日

宛先 総務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、  
 沖縄県知事



## 第15期 総務財政常任委員会

名簿（上段：並び順）嘉陽 宗一郎 / 島袋 力 / 吉居 俊平 / 岸本 洋平 / 大城 秀樹  
（下段：並び順）比嘉 勝彦 / 古波蔵 太(副委員長) / 長山 正邦(委員長) / 翁長 久美子  
※翁長久美子議員は令和7年12月11日に辞職されました。



### 直近の県外視察研修

とき：令和7年11月5日(水)～7日(金)

#### ■兵庫県伊丹市：安全・安心見守りネットワークについて

目的：市内に防犯カメラが多数設置されており、見守り体制のノウハウを学ぶ。

内容：防犯カメラを設置し、さらに官民協働事業で児童や高齢者を見守るシステムがあり、犯罪等の抑止や、児童や高齢者を支える仕組みが構築されていました。

#### ■香川県坂出市：防災危機管理スペシャリスト要請プログラム事業について

目的：坂出市の防災への取組について学ぶ。

内容：市職員が防災スペシャリストとなり、全職員を対象に防災教育を行う。人材教育こそが最大の備えとなっている現状がありました。

#### ■愛媛県松山市：消防団管理業務について

目的：消防団員の確保・維持強化に向けた取組について学ぶ。

内容：基本団員に加え、特定の機能・時間帯を限定して活動する機能別消防団員制度を全国的に先駆けて導入。地域に精通する郵政団員や女性的視点から避難所での支援を主とする女性団員等があり、定期的な訓練や様々な取組を行い、団員の確保に努めていました。

#### ■広島県三原市：デジタル化の推進について

目的：デジタル化の推進でどのように市民サービスの向上につなげるのかについて学ぶ。

内容：「三原市デジタルファースト宣言」を行い、市民サービス、行政運営、関係人口創出の3つの柱で、市役所内で業務改善の取組や市民向け教室、地域課題解決のための実証実験等を行っていました。



令和7年11月 伊丹市役所(視察研修)

先進的な政策等を研修した上で、本市の地域課題解決や市民の福祉向上を目指してまいります。